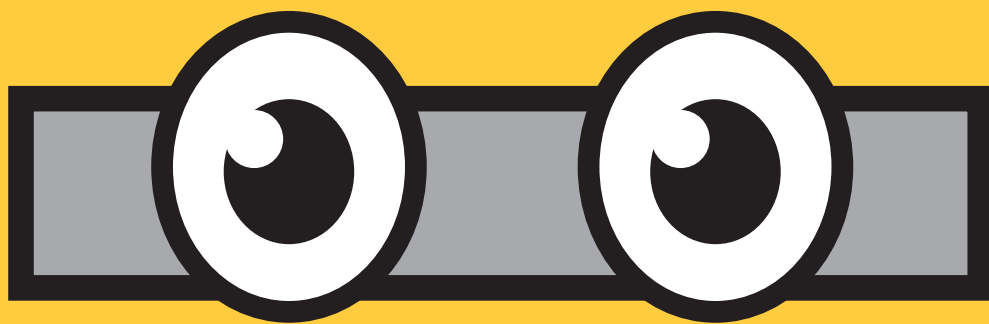




株式
会社

神地鉄工所

100年の軌跡



代表挨拶

創業100周年のご挨拶



代表取締役 近藤 宜孝

この度、株式会社神地鉄工所は2020年(令和2年)8月におきまして創業100周年を迎える事が出来ました。これもひとえに100年もの間、当社に関わる多くの皆様の暖かいご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

当社は1920年(大正9年)創業者初代代表近藤栄作により金属加工、水道工事、帝国陸軍の武器、演習用具等の製作修理を生業として産声を上げました。その当時、次第に日本が太平洋戦争に向かう激動の中、業容を拡大しこの国のためにと必死に業務に当たって参りましたが、日本は敗戦、陸軍解体となり業容を大幅に縮小せざるを得ませんでした。

その後1962年(昭和37年)2代目代表近藤一夫が鍛冶屋の技術を建設に役立てたいと思い立ち業務を鉄骨建設業に大きく転換する事となりました。

やがて高度成長期、オイルショック、バブル景気、バブル崩壊など景気の波に大きく揺さぶられながらも何とか3代目の私までつないでくることができました。

「神地」とは佐野原神社に由来する神社の地の社名、広く社会に貢献し皆様に福が訪れるように努めていく事が使命であるとの意味があります。そして「鉄こそ我が道」という会社としての志のもと、当社が「鉄」に志をたてる意味はどの時代を経ても「鉄」が人の生活において常に身近な存在であり、社会を支える根底である、だから「鉄」で、この国の皆様の安全と安心を提供していきたい。この思いは戦前、戦後、業務内容は違って同じです。

「鉄は力なり」と申します。この言葉を胸にまた次の時代に向けて情熱と誇りを持って業務に当たってまいります。

株式会社神地鉄工所はこれからも「鉄」を通して皆様に少しでもお役に立てますよう努力していく所存でございます。つきましては今後も以前にも増してご指導、ご鞭撻の程、また合わせてご支援、お引き立ての程何卒よろしくお願い申し上げます。

経営理念

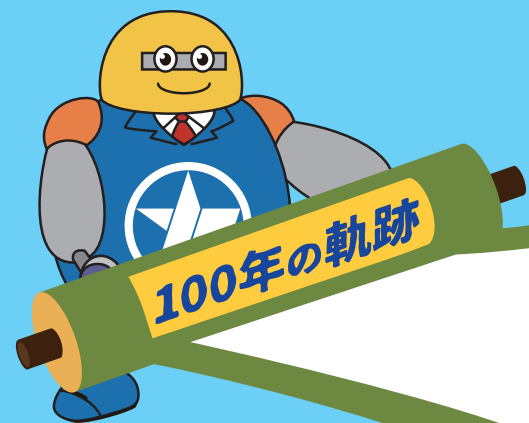
多くの人の支えでありたい

最近では、どのニュース番組でも、環境問題や地震など災害に対する問題がとりあげられています。弊社は、建築物の最重要部分である基礎、鉄骨製作を主とする会社であり、これまでも多くの人が利用する学校、文化センターなどの教育・文化施設や商業施設など様々な建築物の基礎として社会貢献に携わってきました。

弊社は、鉄骨構造建設を通して空間の利用効率の向上に寄与し、又、木材材質をほとんど使用しない環境に配慮した建築方法であり、優れた耐震性能を兼ね備えた材料を使用している為、環境保全、災害対策の一端を担えるものと考えています。

弊社は今後も誇りを持って私たちの技術と笑顔で多様なニーズに応え、多くの人、町の支えでありたい、様々な優れた社会環境、居住環境に貢献できる活動をしていきたいと考えております。





大正

大正9年

静岡県裾野市平松527-3に於いて創業。(創業者初代代表:近藤栄作)

大正13年

帝国陸軍第一師団及び第三師団御用達となり軍専属工場として約80名の従業員にて終戦まで富士演習場の観測所、演習用具の製作、師団内の水道施設工事等を手がける。

昭和22年

敗戦及び陸軍解体によって事業を転換。従業員を5名体制までに大幅に縮小。農家の鍬や鋤などの農機具、金属資材の販売、機械の製作、修理を主務とする。

昭和24年10月

法人設立。現「株式会社神地鉄工所」となる。資本金25万円。この頃より、北駿一帯の火の見やぐら、水道工事、建設鉄骨工事に携わり、消防署等から感謝状数十枚送られ、地域に対する貢献を大いに評価される。

昭和35年7月

資本金75万円に増資。

昭和36年10月

近藤栄作の三男、近藤一夫が2代目代表に就任。

昭和37年8月

本社新築移転、静岡県裾野市平松547-1とする。これを機に現在主力としている鋼構造物工事業＝鉄骨の事業展開を始めた。

昭和38年6月

富士山山頂世界最大の気象レーダードーム建設工事に携わる。

昭和42年11月

資本金200万円に増資。

昭和43年1月

建設工事業・鋼構造物工事業静岡県知事許可取得。

昭和44年3月

裾野平松の工場東側を増築する。

昭和48年11月

資本金500万円に増資。

昭和49年12月

裾野平松の東側倉庫を増築する。

昭和56年6月

建設大臣認定1103号及び社団法人全国鉄構工業連合会Rグレード取得。

昭和60年9月

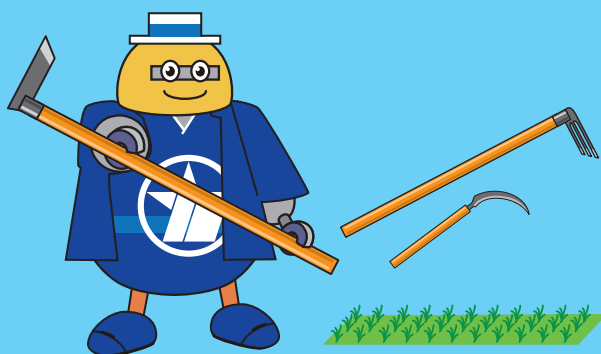
社団法人全国鉄構工業連合会Mグレード取得。

昭和63年9月

当社工場主任 静岡県職長賞を受賞。

創業当初は軍専属工場として活躍 ▶ 戦争が終わり、ニーズに合わせ農家の鍬や鋤などの農機具製作に事業転換した

創業期の工場・事務所



なぜ「神地」？ 社名の由来

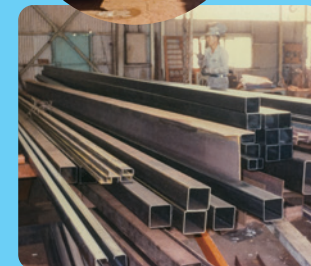
工場設置にあたって、当時はまだ電気が十分に普及しておらず、動力源は主に水車としていた。初代代表近藤栄作が水車を設置するのにちょうど良い落差1.5mの滝のある川が裾野市内、佐野原神社の脇を通っているのを見つけ、その神社の隣の土地を購入して工場を建てた。

この縁で会社名を神社の地、「神地鉄工所」とした。この川にかける橋を寄贈しており、「かみじはし」という橋が今でも残っている。



現在の「かみじはし」

前工場・事務所



富士山 レーダードーム

日本一高い所での建設工事で、その技術力を大いに評価していただく。

現在このレーダードームは道の駅、富士吉田の資料館に展示され当時の工事従事者として「神地鉄工所」の名が記録されている。

是非、足を運んでみてください。



誇らしい

静岡県優秀技能者
功労表彰を
いただきました！

平成元年4月

工務・現寸業務を手書きからCADに移行する。

平成2年12月

裾野平松の工場事務所を更新及び新設する。

平成3年11月

資本金1,000万円に増資。

平成6年10月

溶接ロボット「勤助」を増設する。

平成8年5月

一級建築士事務所登録。

平成13年1月

山本理顕先生設計物件。(東京ウェルズ沼津テクニカルセンター建設工事に携わる)

平成14年4月

近藤一夫の長男、近藤宜孝が3代目代表取締役役に就任。現在の代表。

平成14年4月

国土交通省性能評価 Mグレード認定取得。

平成18年11月

裾野市区画整理事業に伴い本社移転する。現在の静岡県裾野市深良3652-2とする。
CADをリブレース「REAL4」に転換。工場内設備については、溶接機をフルデジタルに移行する。

平成26年8月

工場内照明をLED化し、環境に優しい企業体制を整える。

平成28年3月

積算ソフトを新規増設。積算の効率化を図る。

平成30年1月

中小企業庁にて経営強化計画認定を頂く。

平成30年4月

CADソフト「REAL4」増設。生産効率化を図る。

平成30年9月

ふじのくに健康づくり推進ホワイト事業所認定を頂く。



令和元年9月

コア溶接ロボット「小政」コベルコROBOTiX製導入。増産体制を整える。



令和元年12月

VR技術にて溶接体験実施。



コア溶接ロボット

「小政」
コベルコROBOTiX株式会社

溶接中

2本の腕で
溶接出来るから、
スピードも2倍!!
ロボット
カッコいい!!



工場移転を果たし、生産効率化、デジタル化を進めて行く



現工場・事務所



溶接ロボット

YN-550R「勤助」 ねじ武精工株式会社

柱の要となる「コア」と言われる部分を専門に24時間溶接出来るロボットです。鉄骨を製造する心臓部とも言えます。26歳になりますが、まだまだ新しいロボットに負けず頑張ってくれています。

回転機

ヘラクスR-2 株式会社ヘラクス

縁の下の力持ち。重たい柱もこの機械で安心して自動で回転出来ます。「安全第一」を守る事で、適正な信頼の置ける製品を世の中に送り出す事が出来ます。

天井走行クレーン

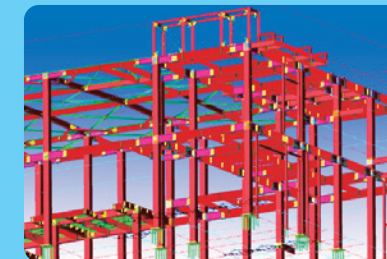
日本ホイス株式会社

梁、柱、その他の重量物を私たちの代わりに運んでくれる機械。最大4.8tクレーンまで揃えてあるため、大型、高層の建物の受注をする事が出来ます。



これからの神地鉄工所

完成のシミュレーションがCADでできる



CAD REAL4(3DCAD)

自分の手で一つ一つ描いた図面が、実際に目の前で組み上げられて行く様子はとてもやりがいを感じる事が出来ます。3Dで完成シミュレーションが出来ます。



完成品

職人一人ひとりの力を合わせた結晶、ミリ単位で組み上げられた建物。事前に3DCADでシミュレーションチェックを行う事で順調に建方が出来ました。

VRで溶接体験

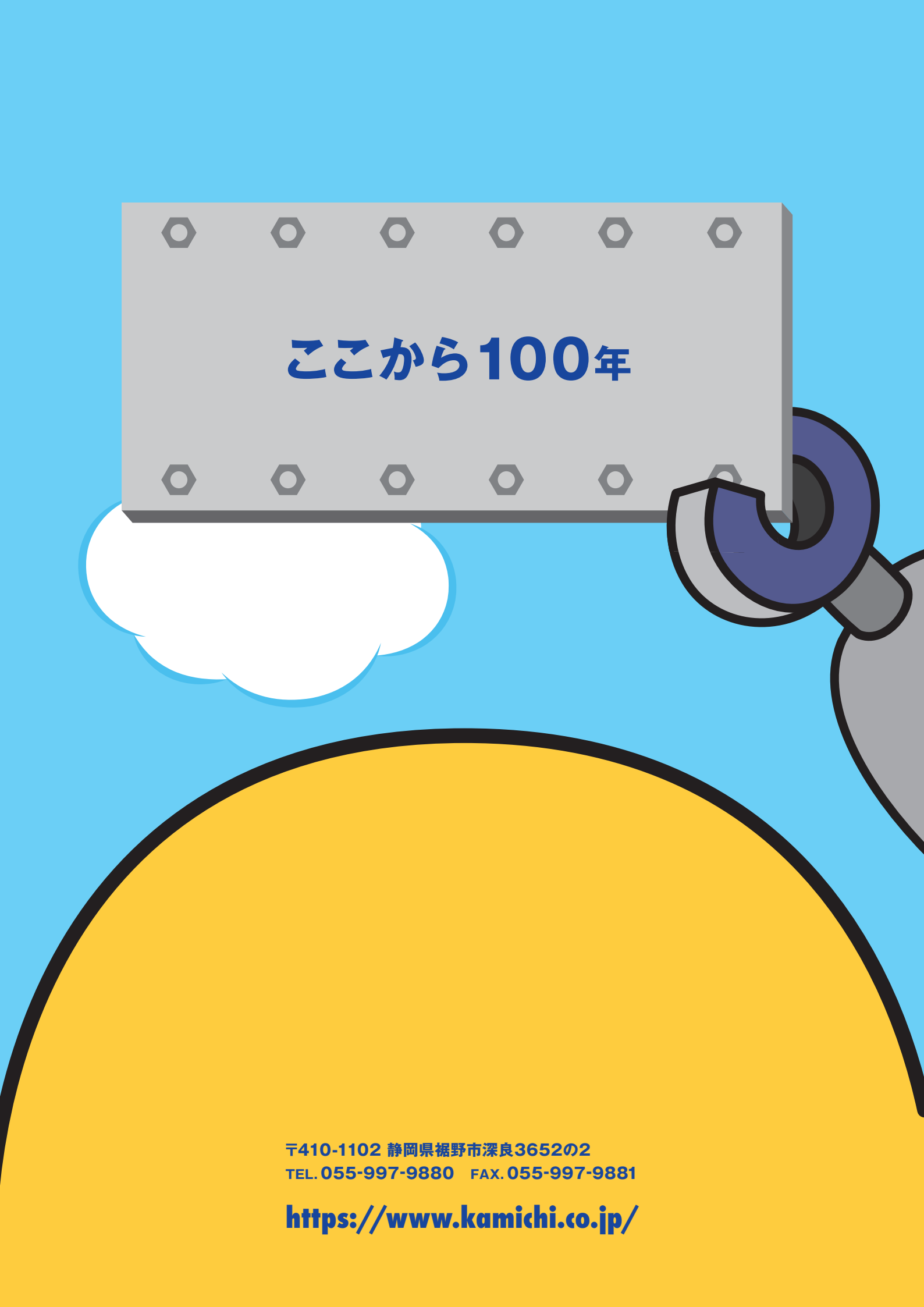


体験

実際に溶接職人が溶接している様子をVRにて再現。VRゴーグルを装着し、体験すればあなたも溶接職人になれるかも。面白い事、新しい事にどんどんチャレンジして行きます。

その時代時代の変化、ニーズに全身全霊でお応えし、これからも常に皆様と一緒に歩んで行きます。





ここから100年

〒410-1102 静岡県裾野市深良3652の2
TEL. 055-997-9880 FAX. 055-997-9881

<https://www.kamichi.co.jp/>